

活動だより みんなの活動だより みんなの活動だ

みんなの 活動だより

ねん がつ
2012 年 3 月

だい ごう
第 5 号

はっこう き かくこうほう いんかい
発行:MISHOP企画広報委員会

MISHOP 温泉研究会 / 伊東編研究発表

MISHOP の温泉研究会とは、外国籍市民に日本の温泉を体験してもらうとともに、会員との楽しい交流を目的としたツアーを開催するグループです。

去る1月29日、11人のMISHOPメンバーは冬の寒さを逃れて、伊豆半島の伊東で一泊温泉旅行を楽しみました。

今回の研究発表には以下の結論:

「毎日が朝風呂ではじまるといいですね」「5回も入った!」「また来年計画しましょう」など。

次の日、ほとんどの参加者は伊豆の城ヶ崎の風景と美味しい海の幸をいただいた後、東京に帰りました。

(MISHOP 温泉研究会会長

ジャン・プレグنز)

M I S H O P 温泉研究会 御一行



MISHOP Hot Springs Research Association is a group to introduce non-Japanese citizens to share the experience of a Japanese hot springs with MISHOP members. Last January 29th, eleven MISHOP members escaped the winter cold to enjoy an overnight hot springs trip to Ito, on the Izu Peninsula. Among the research (?) findings were the following comments: "If only every day could start with a morning soak." "I took five baths!" "Let's plan this again next year!" The next day, most of the participants returned to Tokyo after viewing the scenery of the Jogasaki Coast and having some delicious seafood.

Reported by John Plagens, Chair, MISHOP Hot Springs Research Association

み た か し み ん と う だ い み た か こ く さ い が く せ い し ゅ く し ゃ せ い 三鷹市民と東大三鷹国際学生 宿舎生との集い

12月17日に東京大学三鷹国際学生宿舎運営委員会主催、MISHOP 共催で、三鷹市民と東京大学三鷹国際学生宿舎生との集いが、国際学生宿舎で開かれました。第1部は「三大災害(地震、津波、原子力発電所事故)にみる日本の科学技術と社会コミュニケーションの課題」と題して、藤垣裕子・東大教授による講演がありました。ホットな題材で「想定外」の功罪を述べ、大変興味深く、示唆に富んだお話でした。

第2部の懇親パーティーでは留学生によるピアノ連弾のパフォーマンスなどで楽しい時を過ごしました。MISHOPの会員の出席も多く、留学生との交流を深めていました。



Annual Fellowship Party with Foreign Exchange Students Staying at the Tokyo University Mitaka International Hall of Residence

The first half of this event held on December 17 was a talk on Japan's science, technology and social communication issues in the three major disasters (earthquake, tsunami and nuclear meltdown) given by Tokyo University professor, Yuko Fujigaki. The second half fellowship party was a more lighthearted affair, including a piano performance by exchange students.

こうえきざいだんほうじん 「公益財団法人」への移行について

み たかこくさいこうりゅうぎょうかい いけだ じ む きょくちょう
三鷹国際交流協会 池田事務局 長

くにぜんたい こうえきほうじんせい ど かいかく じっし なか ざいだんほうじん み たかこくさいこうりゅうぎょうかい
国全体で公益法人制度改革が実施される中で、財団法人三鷹国際交流協会
(MISHOP)は、2012年4月に「公益財団法人三鷹国際交流協会」として
あら 新たにスタートします。

Q 「公益財団法人」って何？

A ひろ しゃかい やく た こう
広く社会に役に立つこと(公
益)を目的とした事業を行う
法人として、国又は都道府県か
ら認定され、高い社会的信頼
を得た法人です。

Q 「公益財団法人」になると 今までとどう変わるの？

A ほうじん そしき き ほんてき じ
法人の組織など基本的な事
業を定める定款や、財産の保
有・経理の仕方などが変更され
ます。

MISHOPの事業は、「公
益目的事業」と位置づけられ、
公益性と透明性が求められま
すが、従来会員のみなさんが
行っている活動が制限されたり、
大幅な変更を求められたり
するものではありません。

Q 「公益財団法人」になると メリットがあるの？

A み たか し ほ じょきん う
三鷹市からの補助金を受ける
に相応しい法人であることを証
明するとともに、一般からの寄
付金が受けやすくなる、税金が
非課税となるなどのメリットがあ
ります。



Changing to a Public Interest Incorporated Foundation (Koeki Zaidan Hojin)

Mr. Ikeda, Executive Secretary of MISHOP

With the nationwide implementation of reforms to the Public Interest Corporation System, MISHOP will be changing from an incorporated foundation (zaidan hojin) to a public interest incorporated foundation meaning that it is an entity recognized by government as serving the public interest, and therefore a suitable candidate for financial support from Mitaka. The change also carries tax advantages. Although there will be changes to MISHOP's Articles of Incorporation and the handling of assets and finances, as well as public interest and transparency requirements imposed when positioning business as “business for public interest purposes”, the activities of members will not be significantly restricted or changed.



へんしゅうしつ 編集室 Message from the Editors

4月からはいよいよ公益財団法人となります。協会の何が変わるのか、会員の活動にどんな影響があるのか。池田事務局 長に解説していただきました。

MISHOP will become a public interest incorporated foundation from April, and Executive Secretary Ikeda has been kind enough to explain what this will mean for everyone.

ていせい 訂正 [Correction]

第4号の「Farewell Party 2011」記事の中で、アビール・ラシンさんとあるのはアビール・ヤシンさん、英文訳の中で「Tetsuya Unno」とあるのは「Tatsuya Unno」の誤りでした。訂正します。

Tatsuya Unno was mistakenly listed as “Tetsuya Unno” in the Farewell Party 2011 article in the 4th edition.